

『小学算数』5年 年間指導計画（詳細案）

● さあ、算数の学習をはじめよう！ (p.2～10)

4月中旬【1時間】

| 時間 | 学習活動 |
|----|---|
| 1 | ○前学年までの学習内容で解決できる問題について、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決的な学習を進めることを通して、算数科における学習の進め方を確認する。 ・教科書の巻末に切り離しが可能な「学び方ガイド」「算数で使いたい見方・考え方」が付いていることを紹介し、算数の学習の進め方を確かめたいときには、いつでも、このシートを見るとよいことを知らせる。 |
| ※ | ・「算数ノートをつくろう」に示されたノート例を見て、算数のノートのかき方を学級で共有する。 |
| ※ | ・「教科書の使い方」を見て、教科書の各コーナーの意図やマークの意味などを確認する。 ・「二次元コード」のコンテンツの種類や使うときの注意事項を確認する。 |

1 整数と小数のしくみ【数のしくみを調べよう】 (p.11～16)

4月中旬【4時間】

【単元の目標】

- (1) 整数や小数について、10倍、100倍、1000倍、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にしたときの位や小数点の位置の移動の仕方を理解し、またその大きさの数をつくることができる。
- (2) 小数も整数の表し方と同じ十進位取り記数法として考え、計算などに有効に生かすことができる。
- (3) 整数と小数が同じ十進位取り記数法で表されていることよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| ①整数や小数について、ある数の10倍、100倍、1000倍、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくることができる。 | ①整数や小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、計算などに生かしている。 | ①整数と小数が同じ十進位取り記数法で表されていることよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目 標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|---------------------------|---|---|----------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.11)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| 1 | ○整数や小数の表し方のしくみに着目し、整数や小数で、それぞれの位の数字が現す意味と数のしくみを理解するとともに、十進位取り記数法としてまとめる。 | ・整数、小数のしくみを調べる。 ・整数、小数の構成を式に表す。 | 知①：発言 思①：観察・発言 態①：発言 |
| 2 | ○小数を10倍、100倍、1000倍したときの小数点の移動のきまりを理解する。 | ・整数、小数を10倍、100倍、1000倍したときの小数点の位置を調べる。 | 知①：発表・ノート |
| 3 | ○小数を $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にしたときの小数点の移動のきまりを理解する。 | ・整数、小数を $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ にしたときの小数点の位置を調べる。 | 知①：発言・ノート |
| 学習をたしかに (p.16) 1時間 | | | |
| 4 | ○『たしかめよう』で学習内容の理解を確認する。 ○『「整数と小数のしくみ」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①：ノート 思①：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.280)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

2 体積 [直方体や立方体のかさを表そう] (p.17～31)

4月中旬～4月下旬 [11時間]

【単元の目標】

- (1) 体積や容積の意味と単位やその相互関係を理解するとともに、求積公式を利用して、体積や容積を求めることができる。
- (2) 体積も面積と同様に単位のいくつ分で数値化できると考えたり、体積の求め方を考えたりすることができる。
- (3) 単位となる大きさのいくつ分として数値化できるというよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| ①立方体や直方体の体積を、公式を用いて求めることができる。 ②体積の単位 (cm ³ 、m ³) について知り、測定の意味について理解している。 ③必要な部分の長さを用いることで、立方体や直方体の体積は計算によって求めることができることを理解している。 | ①体積の単位や図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積の計算による求め方を考えている。 ②体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。 | ①立方体や直方体の体積についても、単位の大きさを決めると、その幾つ分として数値化できるというよさに気づき、学習したことをもとに、立方体や直方体の体積の公式を導きだそうとしたり、生活や学習に活用しようとしたりしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|-----------------------------------|---|---|-----------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.17) は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 直方体と立方体の体積 (p.18～22) 3時間 | | | |
| | ○単元アプローチ (p.18) ・直方体や立方体の体積を比べる方法を考える。 | | 態①：観察・発言 |
| 1. 2 | ○これまでに学習した単位を考慮しながら、体積の意味と単位を理解し、1cm ³ のいくつ分の考えで体積を求めることができる。 | ・直方体や立方体のかさの表し方を考える。 ・体積の意味、体積の単位「cm ³ 」を知る。 | 知②：観察・発言 思②：観察・発言 |
| 3 | ○体積の単位や図形を構成する要素に着目し、直方体、立方体の体積を計算で求める方法を考え、公式をまとめる。 | ・直方体、立方体の体積を求める公式をまとめる。 ・直方体、立方体の体積を計算で求める方法を考える。 | 知③：発言・ノート 思①：観察・発言 |
| ② 体積の求め方のくふう (p.23～25) 2時間 | | | |
| 4. 5 | ○図形を構成する要素に着目し、複合図形の体積の求め方を考え、説明することができる。 | ・複合図形の体積の求め方を考え、説明する。 | 思①：発言・ノート |
| ③ いろいろな体積の単位 (p.26～29) 5時間 | | | |
| 6. 7 | ○「m ³ 」の単位を知り、大きな直方体の体積を求めることができる。また、「m ³ 」と「cm ³ 」の関係を理解する。 | ・大きな直方体の体積を求める。 ・体積の単位「m ³ 」を知る。 ・「m ³ 」と「cm ³ 」の単位の相互関係を調べる。 【使ってみよう】 ・1m ³ の大きさを感じ取る活動に取り組む。 | 知②：ノート |
| 8 | ○内のり、容積の意味を理解し、容積を求めることができる。 | ・入れものにはいるかさの求め方を調べる。 ・内のり、容積の意味を知る。 | 知③：発言・ノート |
| 9 | ○「L」と「cm ³ 」、「m ³ 」と「L」の関係を理解するとともに、体積の単位の関係をまとめる。 | ・水のかさと体積の関係を調べる。 ・体積の単位とその関係をまとめる。 | 知②：発言・ノート 思②：ノート |
| 10 | ○身の回りのものの体積や容積を求めることができる。 | 【使ってみよう】 ・身の回りの物の体積や容積を調べる。 ・1Lのかさの入れものをつくる。 | 態①：観察 |

| 学習をたしかに (p.30～31) 1時間 | | |
|-----------------------|--|-------------------------------|
| 11 | <ul style="list-style-type: none"> ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「体積」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | 知①②③：ノート 思①②：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.281)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | |

3 2つの量の変わり方【ともなって変わる2つの量の関係を調べよう】 (p.32～38)

5月上旬～5月中旬【5時間】

【単元の目標】

- (1) 伴って変わる2つの量の間に成り立つ比例の関係を理解し、表や式に表すことができる。
- (2) 伴って変わる2つの量の関係を整理して表や式を用いて表し、きまりを見いだすことができる。
- (3) 伴って変わる2つの量の変わり方に関心を持ち、きまりなどの特徴を見いだすことよき気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ①簡単な場合について、「一方が2倍、3倍、4倍、…になれば、他方も2倍、3倍、4倍…になる」という比例の関係があることを知っている。 ②乗法の場面について、「一方が2倍、3倍、4倍、…になれば、他方も2倍、3倍、4倍、…になる」などのように言葉を用いて表すことができる。 | ①求めたい数量に対して、一方の数量を決めれば他方の数量が決まるか、あるいは伴って一定のきまりで変化するかを観察することで、それと関係のあるほかの数量を見いだしている。 ②伴って変わる二つの数量の関係を表や式を用いて表し、数量の間の変化や対応の特徴を考察して規則性などを見いだしている。 | ①求めたい数量に対して、伴って変わる数量の変わり方に関心を持ち、特徴を見いだすことよき気づき、学習したことをもとに、生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|---------|---|--|-------------------------|
| 1. 2 | ○単元アプローチ (p.32) ・身の回りや学習したことで、伴って変わる関係にあるものを探す。 | | 態①：観察 |
| | ○比例する2つの量の関係を表や式に表し、変化や対応の関係を見だし、比例の関係について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・直方体の高さを2倍、3倍、…にしたときの、高さと同積の関係調べ。 ・直方体の高さを2、3、…でわったときの、高さと同積の関係調べ。 | 知①：ノート 思①：発言・ノート |
| 3 | ○比例の関係を理解を深め、乗法の場面が比例の関係を表すことを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リボンを買う長さを2倍、3倍、…にすると、代金がどのように変わるか調べる。 ・リボンの長さと同金の関係について、数直線を使って表す。 | 知②：ノート |
| 4 | ○差が一定で変わる2つの数量の関係を表や式に表し、対応の関係をみだし、きまりや変わり方について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ1cmの板を使って、本棚をつくるときの、内側の横の長さと同側の横の長さを調べ、差が一定の変わり方を式に表す。 | 思①②：発言・ノート |
| 5 | ○伴って変わる2つの量の関係を式に表し、式の意味を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長さの等しい棒を使って正方形をつくり、横に並べていくときの、正方形の数と棒の数の関係を調べ、変わり方を表を使わず、計算で求める方法を考える。 | 思①②：発言・ノート 態①：発言・ノート |

4 小数のかけ算 [小数をかける計算のしかたを考えよう] (p.39～52)

5月中旬～5月下旬 [12時間]

【単元の目標】

- (1) (整数、小数)×(小数)の計算の意味や仕方を理解し、その計算ができる。また、小数の乘法について、整数と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。
- (2) 既習の整数の計算の仕方をもとに、(整数、小数)×(小数)の計算の仕方を考え、説明することができる。
- (3) 小数が整数と同じ十進位取り記数法で表されていることをもとに、小数の計算も整数の計算と同じように考えることができるというよさに気づき、学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| ①乗数が小数である場合の乗法の意味について、乗数が整数である場合の計算の考え方をもとにして、理解している。 | ①乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて、小数を用いた倍の意味などをもとに、乗法の意味をとらえ直している。 | ①学習したことをもとに、小数の乗法の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を振り返り、多面的に考え検討したりしようとしている。 |
| ②1/100の位までの小数の乗法の計算ができる。 | ②小数の乘法について、小数の意味や表現をもとにしたり、乘法に関して成り立つ性質を用いたりして、計算の仕方を多面的に考えている。 | ②小数の乗法の計算の仕方を振り返り、筆算での処理に生かそうとしている。 |
| ③小数の乘法について、整数の場合と同じ関係や交換・結合・分配法則が成り立つことを理解している。 | ③小数の乗法の計算を用いて、日常生活の問題を解決している。 | ③小数の乗法の計算に、乘法に関して成り立つ性質などが有効に働いていることのよさに気づき、学習に活用しようとしている。 |
| ④乗数が小数の場合の、乗数の大きさによる、被乗数と積の大きさの関係を理解している。 | | |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|---------------------------------|--|---|-------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.39)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| 1 小数をかける計算 (p.40～44) 4時間 | | | |
| 1 ・ 2 | ○単元アプローチ (p.40) ・既習のかけ算を振り返り、未習のかけ算への見直しを持つ。 | | 知①：発言・ノート 思①：発言・ノート |
| | ○乗数が小数である場合まで数の範囲を広げ、整数に小数をかけることの意味を考え、説明することができる。 | ・1m80円のリボンを2.3m買って、代金を求める場面を立式し、その式になる理由を説明する。 | |
| 3 | ○小数の意味や表現をもとにしたり、乘法に関して成り立つ性質を用いたりして、整数に小数をかける計算の仕方を考える。 | ・ 80×2.3 の計算の仕方を考える。 ・考えを発表し、 80×2.3 の計算の仕方について話し合う。 | 思①②：発言・ノート 態①：観察・発言 |
| ※ | 「よみとろう あらわそう」(p.312)で、4年までに使用してきたテープ数直線図から2本数直線図への転換を図り、2本数直線図のよみ方・かき方を確認する。 | | |
| 4 | ○純小数をかける計算の仕方を考え、その積は被乗数より小さくなることを理解する。 | ・ 80×0.6 の計算の仕方を考えることを通して、小数(純小数)をかける計算の意味を知る。 | 知①④：観察・発言 思①②：発言・ノート |
| 2 小数のかけ算 (p.45～48) 5時間 | | | |
| 5 ・ 6 | ○小数をかける計算の仕方を乘法に関して成り立つ性質を用いて考えとともに、その筆算の仕方を考える。 | ・ 1.7×2.3 の計算の仕方を考える。 ・(小数)×(小数)の筆算の仕方を考える。 | 思②：観察・発言 態②：観察・発言 |
| 7 | ○小数第二位を含む(小数)×(小数)の筆算の仕方を理解する。 | ・ 1.57×3.6 の筆算の仕方を考える。 ・小数をかける計算の筆算の仕方をまとめる。 | 知②：発言・ノート 態②：観察・発言 |
| 8 | ○末尾が0になる場合、積が1より小さい場合の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 | ・末尾が0の場合、積が1より小さい場合の(小数)×(小数)の筆算の仕方を考える。 | 知②：発言・ノート |
| 9 | ○乗数の大きさによる、被乗数と積の関係を理解する。 | ・小数をかけるときの乗数と積の大きさについて調べる。 | 知④：発言・ノート |

| ③ 小数のかけ算を使う問題 (p.49～50) 2時間 | | |
|-----------------------------|--|--|
| 10 | ○辺の長さが小数の場合も面積や体積の求積公式が適用できることを理解し、求積できる。 | ・辺の長さが小数で表された長方形の面積や直方体の体積を求める。 知①：発言・ノート 思③：発言・ノート |
| 11 | ○小数の場合でも、整数の場合に成り立った計算法則が成り立つことを理解する。 | ・小数をあてはめて、交換法則・結合法則・分配法則が小数でも成り立つことを調べる。 ・分配法則が成り立つことを、面積図を使って説明する。 知③：発言・ノート 態③：観察 |
| 学習をたしかに (p.51～52) 1時間 | | |
| 12 | ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「小数のかけ算」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | 知①～④：ノート 思①②③：ノート 態①②③：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.282)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | |

5 小数のわり算【小数でわる計算のしかたを考えよう】 (p.53～67)

5月下旬～6月中旬 [12時間]

【単元の目標】

- (1) (整数、小数)÷(小数)の計算や計算の仕方を理解し、その計算ができる。また、小数の除法について、商と被除数の大小関係やあまりの大きさについて理解する。
- (2) 既習の整数の計算の仕方をもとに、(整数、小数)÷(小数)の計算の仕方を考え、説明することができる。
- (3) 既習の整数の計算の仕方をもとに、小数の計算も同じように考えることができるというよさに気づき、学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ①除数が小数である場合の除法の意味について、除数が整数である場合の計算の考え方をもとにして、理解している。 ② $\frac{1}{100}$ の位までの小数の除法の計算ができる。 ③小数の除法の計算におけるあまりの大きさについて理解している。 ④小数の除法について、整数の場合と同じ関係が成り立つことを理解している。 ⑤除数が小数の場合、除数の大きさによる、被除数と商の大きさの関係を理解している。 | ①除数が小数である場合まで数の範囲を広げて、小数を用いた倍の意味などをもとに、除法の意味をとらえ直している。 ②小数の除法について、小数の意味や表現をもとにしたたり、除法に関して成り立つ性質を用いたりして、計算の仕方を多面的に考えている。 ③小数の除法の計算を用いて、日常生活の問題を解決している。 | ①学習したことをもとに、小数の除法の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を振り返り、多面的に考え検討したりしようとしている。 ②小数の除法の計算の仕方を振り返り、筆算での処理に生かそうとしている。 ③小数の除法の計算に、除法に関して成り立つ性質などが有効に働いていることのよさに気づき、学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|-------------------------|--|---|------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.53)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 小数でわる計算 (p.54～58) 4時間 | | | |
| 1・2 | ○単元アプローチ (p.54) ・既習のわり算を振り返り、未習のわり算への見通しを持つ。 ○除数が小数である場合まで数の範囲を広げ、整数を小数でわることを意味を考え、説明することができる。 | ・2.4mの代金が96円のリボンの1mの値段を求める場面を立式し、その式になる理由を説明する。 | 知①：観察・発言 思①：発言・ノート |
| 3 | ○小数の意味や表現をもとにしたたり、除法に関して成り立つ性質を用いたりして、整数を小数でわる計算の仕方を考える。 | ・ $96 \div 2.4$ の計算の仕方を考える。 ・考えを発表し、 $96 \div 2.4$ の計算の仕方について話し合う。 | 思①②：発言・ノート 態①：観察・発言 |
| ※ | 「よみとろう あらわそう」(p.312)で、4年までに使用してきたテープ数直線図から2本数直線図への転換を図り、2本数直線図のよみ方・かき方を確認する。 | | |

| | | | |
|-------------------------------|--|---|----------------------------------|
| 4 | ○純小数でわる計算の仕方を考え、その商は被除数より大きくなることを理解する。 | ・ $56 \div 0.8$ の計算の仕方を考えることを通して、小数（純小数）でわる計算の意味を知る。 | 知①⑤：観察・発言 思①②：発言・ノート |
| ② 小数のわり算 (p.59～48) 7時間 | | | |
| 5・6 | ○小数を小数でわることの意味を理解し、計算の仕方を考えるとともに、その筆算の仕方を考える。 | ・ $7.36 \div 2.3$ の計算の仕方を考える。 ・(小数)÷(小数)の筆算の仕方を考える。 | 思②：観察・発言 態②：観察・発言 |
| 7 | ○(小数)÷(小数)の筆算の仕方を理解する。 | ・ $0.864 \div 0.24$ の筆算の仕方を考える。 ・小数でわる計算の筆算の仕方をまとめる。 | 知②：発言・ノート 態②：観察・発言 |
| 8 | ○わり進む場合、商が1より小さい場合の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 | ・わり進む場合、商が1より小さい場合の(小数)÷(小数)の筆算の仕方を考える。 | 知②：発言・ノート |
| 9 | ○除数の大きさによる、被除数と商の関係を理解する。 | ・小数でわるときの除数と商の大きさについて調べる。 | 知⑤：発言・ノート |
| 10 | ○小数の意味や表現をもとにして、あまりのある場合の除法について、除数とあまりの大きさについて考え、理解する。 | ・小数でわる計算のあまりの大きさを考える。 ・あまりのある(小数)÷(小数)の筆算による仕方をまとめる。 | 知③④：発言・ノート 思③：観察・発言 態③：観察 |
| 11 | ○商を概数で表す場合の求め方を考える。 | ・小数のわり算で商を概数で求める。 | 知②：観察・ノート 思③：ノート |
| 学習をたしかに (p.66～67) 1時間 | | | |
| 12 | ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「小数のわり算」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①～⑤：ノート 思①②③：ノート 態①②③：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.282)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

● どんな計算になるか考えよう (p.68)

6月中旬 [1時間]

| 時間 | 学習活動 |
|----|---|
| 1 | ○問題文を読み、どのような計算で求められるかを考えて解決する。(乗法・除法場面の演算決定) *時間内で扱えない問題は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に取り組ませる。 |

6 図形の合同と角 [ぴったり重なる形と図形の角を調べよう] (p.69 ~ 89)

6月中旬～7月中旬 [14時間]

【単元の目標】

- (1) 図形の合同の意味や性質を理解し、合同な図形をかくことができる。また、三角形や多角形の内角の和の求めることができる。
- (2) 図形の形や大きさがきまる要素に着目して、合同な図形のかき方を考えることができる。また、多角形が三角形に分割できることを利用して内角の和を求める方法について考え、説明することができる。
- (3) 身の回りから合同な図形を見つけようとしたり、多角形の内角の和の求め方を調べようとしたりして、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| ①図形の形や大きさが決まる要素について理解している。 ②図形の合同について理解している。 ③合同な図形では、対応する辺の長さ、対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを理解している。 ④二つの合同な図形について、ずらしたり、回したり、裏返したりして置かれた場合でも、その位置に関係なく、辺と辺、角と角の対応を付けることができる。 ⑤合同な三角形や四角形を、対応する辺の長さや角の大きさに着目し、作図することができる。 ⑥三角形の三つの角の大きさの和が 180° になることや、四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを理解している。 ⑦四角形の四つの角の大きさの和は、三角形の三つの角の大きさの和をもとにすれば求められることを理解している。 ⑧多角形について知り、平面図形についての理解を深めている。 | ①図形が「決まる」という意味を理解し、合同な三角形について、能率的なかき方を考え、合同な三角形をかくために必要な構成要素を見いだしている。 ②三角形の三つの角の大きさの和が 180° であることを帰納的に見いだしている。 ③四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることや、五角形の五つの角の大きさの和が 540° になることを、三角形の三つの角の大きさの和が 180° であることをもとに、演繹的に考えている。 | ①図形の形や大きさが決まる要素について考えたことを振り返り、それらのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 ②三角形や四角形など多角形についての簡単な性質について考えたことを振り返り、それらのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|------------------------------|---|----------------------------------|------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.69)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 合同な図形 (p.70～74) 4時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.70) ・身の回りにある形も大きさも同じ図形を探し、合同な図形への見通しを持つ。 | | 態①：観察・発言 |
| 2 | ○図形の合同の意味を理解する。 | ・形も大きさも同じ四角形を見つける。 ・合同の意味を知る。 | 知②④：発言・ノート |
| 3 | ○合同な図形における対応する頂点、辺、角について調べ、合同な図形への理解を深める。 | ・合同な図形で、対応する頂点、辺、角の関係を調べる。 | 知③：発言・ノート |
| 4 | ○いろいろな四角形に対角線をひいてできた三角形について、合同の観点でとらえ直す。 | ・四角形を対角線で分割してできる三角形が合同かどうかを調べる。 | 知②③④：ノート |

| ② 合同な図形のかき方 (p.75～79) 3時間 | | | |
|---------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 5・6 | ○合同な三角形を作図するためには、どの辺や角の大きさがわかればよいか、いろいろな方法で考え、合同な三角形を作図するのに必要な辺の長さや角の大きさを知り、合同な三角形を作図することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・合同な三角形を作図する方法を考える。 ・1つの辺をかいたとき、残りの頂点の位置のきめ方を考える。 ・合同な三角形をいろいろな方法で作図する。 ・合同な三角形を作図する方法について話し合い、まとめる。 | 知①③⑤：発言・観察・ノート 思①：発言・ノート 態①：観察 |
| 7 | ○合同な三角形のかき方をもとに、合同な四角形のかき方を考え、作図することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・合同な四角形のかき方を考える。 ・合同な四角形をいろいろな方法で作図する。 | 知⑤：観察・ノート 思①：発言・ノート |
| ③ 三角形と四角形の角 (p.80～87) 6時間 | | | |
| 8・9 | ○合同な三角形の敷きつめを通して、三角形の内角の和が 180° であることを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・三角形を敷きつめる活動を行う。 ・三角形の三つの角の大きさの和を調べ、求め方を説明する。 | 知⑥：観察・ノート 思②：発言・ノート |
| 10 | ○三角形の内角の和が 180° であることを使って、未知の角の大きさを求めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の外角の大きさを求める。 | 知⑥：ノート |
| 11・12 | ○四角形の内角の和を、三角形の内角の和をもとに考え、その内角の和が 360° であることを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を使って、四角形の4つの角の大きさの和を調べ、求め方を説明する。 | 知⑥⑦：ノート 思③：発表・ノート |
| 13 | ○多角形の意味を理解し、三角形や四角形の性質の学習を振り返り、その内角の和の求め方を考え、説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・多角形の意味を知る。 ・多角形の角の大きさの和を調べる。 | 知⑧：ノート 思③：発表・ノート 態②：観察 |
| 学習をたしかに (p.88～89) 1時間 | | | |
| 14 | <ul style="list-style-type: none"> ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「図形の合同と角」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①～⑧：ノート 思①～④：ノート 態①②：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.284)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

● 復習 (p.90～92)

7月下旬 [1時間]

| 時間 | 学習活動 |
|----|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○①<見方・考え方をみがこう>で、単元で培った数学的な見方・考え方を振り返る。 ○②以降で、1学期の学習内容の理解を確認する。 *時間内で扱えない問題は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に取り組ませる。 |

7 整数の性質 [整数の性質を調べよう] (p.93～106)

9月上旬～9月中旬 [10時間]

【単元の目標】

- (1) 偶数と奇数の意味を理解し、整数を分類できるとともに、倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることができる。
- (2) 整数を偶数、奇数や倍数、約数の観点で分類し、その性質を考えることができる。
- (3) 整数の性質の特徴について考えたことを振り返り、学習したことを生活の場面で活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ①偶数と奇数について知っている。 ②整数は、観点を決めると偶数、奇数に類別されることを知っている。 ③倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数について知り、それらを求めることができる。 | ①乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えている。 ②乗法及び除法に着目し、倍数や約数などの求め方を考えている。 ③数の構成について、ある数の倍数や約数の全体をそれぞれ一つの集合としてとらえ、考察している。 ④偶数、奇数や倍数、約数などを、日常生活や算数の学習の問題解決に生かしている。 | ①偶数、奇数や倍数、約数などの求め方を考えたことを振り返り、それらのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|---------------------------------|---|--|--------------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.93)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| 1 偶数と奇数 (p.94～96) 2時間 | | | |
| 1 ・ 2 | ○単元アプローチ ・1から20までの整数の分け方を考える。 | | 知①②：発言・ノート 思①：発言・ノート |
| | ○乗法及び除法に着目し、整数は、偶数と奇数の2つの集合に分けられることを理解する。 | ・赤と白の2つのチームのゼッケン番号を調べる。 ・偶数、奇数の意味を知り、整数を類別する。 | |
| 2 倍数と公倍数 (p.97～101) 4時間 | | | |
| 3 | ○倍数の意味について理解し、ある数の倍数を一つの集合としてとらえ、考察している。 | ・色板を並べ、並べた色板の縦と横の長さを調べる。 ・倍数の意味を知り、求め方を調べる。 | 知③：発言・ノート 思③：発言・ノート |
| 4 | ○2つの数の倍数の集合の共通部分を考え、公倍数、最小公倍数の意味について理解する。 | ・色板を並べ、正方形ができる場合の一边の長さを調べる。 ・公倍数、最小公倍数の意味を知る。 | 知③：発言・ノート 思③：発言・ノート |
| 5 | ○2つの数の公倍数の見つけ方を考え、くふうし、求めることができる。 | ○2つの数の公倍数の見つけ方を考える。 | 知③：発言・ノート 思②：観察・発言 |
| 6 | ○3つの数の公倍数の見つけ方を考え、くふうし、求めることができる。 | ○3つの数の公倍数の見つけ方を考える。 | 知③：発言・ノート 思②：観察・発言 |
| 3 約数と公約数 (p.102～104) 3時間 | | | |
| 7 | ○約数の意味について理解し、ある数の約数を一つの集合としてとらえている。 | ・あまりの出ない鉛筆の分け方を調べる。 ・約数の意味を知り、求め方を調べる。 | 知③：発言・ノート 思③：発言・ノート |
| 8 | ○2つの数の約数の集合の共通部分を考え、公約数、最大公約数の意味について理解する。 | ・どちらもあまりの出ない鉛筆とノートの分け方を調べる。 ・公約数と最大公約数の意味を知る。 | 知③：発言・ノート 思③：発言・ノート |
| 9 | ○公約数の見つけ方を考え、くふうし、求めることができる。 | ・2つの数の公約数の見つけ方を考える。 | 知③：発言・ノート 思②：観察・発言 |
| 学習をたしかに (p.105～106) 1時間 | | | |
| 10 | ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「整数の性質」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①②③：ノート 思①～④：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.285)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

8 分数のたし算とひき算 [分数の計算のしかたを考えよう] (p.107 ~ 119)

9月中旬～10月上旬 [11時間]

【単元の目標】

- (1) 約分や通分の意味、異分母分数の加法及び減法の計算の仕方を理解し、分数の大きさを比べたり、異分母分数の加法及び減法の計算をしたりすることができる。
- (2) 異分母分数の加法及び減法の計算について、大きさの等しい分数の性質をもとに計算の仕方を考えることができる。
- (3) 分数の相等及び大小についての考えをもとに、異分母分数の加法及び減法の計算の仕方を考えるなど学習したことを活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| ①一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解している。 ②分数を約分することができる。 ③分数の相等及び大小について知り、通分することで、分数の大きさを比べることができる。 ④異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 | ①分数の性質にもとづいて、数の相等及び大小関係について考察している。 ②異分母の分数の加法及び減法について、分数の意味や表現をもとにしたたり、一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを用いたりして、計算の仕方を考えている。 | ①一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことなど、学習したことをもとに、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えたり、計算の仕方を振り返り、統合的に検討したりしようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|---------------------------------------|---|---|-----------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.107)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 約分と通分 (p.108 ~ 113) 4時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ ・カードを1枚ずつ2枚めくり、そこにかかれた分数の大きさの比べ方を考える。 ○大きさの等しい分数の性質を考え、その作り方を理解する。 | ・数直線を使って、等しい分数の作り方を考える。 ・大きさの等しい分数の作り方をまとめる。 | 知①：発言・ノート 思①：発言・ノート |
| 2 | ○約分の意味と仕方を理解する。 | ・約分の意味を知る。 ・約分の仕方をまとめる。 | 知②：観察・発言 |
| 3 | ○異分母分数の大小関係を考え、通分の意味と仕方を理解し、大きさを比べることができる。 | ・異分母分数の大きさの比べ方を考える。 ・通分の意味を知る。 | 知③：観察・発言 思①：発言・ノート |
| 4 | ○通分の仕方について考え、分母をできるだけ小さくする方法を知る。 | ・2つの分数の大きさを比べることを通して、より簡単に通分する方法を考える。 ・3つの分数の大きさを比べる。 | 知③：発言・ノート 思①：発言・ノート |
| ② 分数のたし算とひき算 (p.114 ~ 117) 6時間 | | | |
| 5 | ○異分母分数(真分数)のたし算の仕方を考え、その計算ができる。 | ・異分母分数のたし算の仕方を考える。 例 $\frac{1}{3} + \frac{1}{2}$ | 知④：発言・ノート 思②：観察・発言 |
| 6 ・ 7 | ○帯分数を含む異分母分数のたし算の仕方を考え、その計算ができる。 | ・答えが帯分数になる場合、約分できる場合のたし算の仕方を考える。 例 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$, $\frac{3}{10} + \frac{1}{6}$ ・帯分数のたし算の仕方を考える。 例 $1\frac{1}{2} + 2\frac{1}{3}$ | 知④：ノート 思②：観察・発言 態①：発言 |
| 8 | ○異分母分数(真分数)のひき算の仕方を考え、その計算ができる。 | ○異分母分数のたし算の仕方を考える。 例 $\frac{2}{3} - \frac{1}{2}$ | 知④：ノート 思②：発言・ノート |
| 9 ・ 10 | ○答えが約分できる場合や、帯分数どうしのひき算の仕方を考え、その計算ができる。また、三つの分数の計算の仕方を考え、その計算ができる。 | ○答えが約分できる場合や、帯分数どうしのひき算の仕方を考える。 例 $\frac{5}{6} - \frac{3}{10}$, $3\frac{1}{2} - 1\frac{1}{3}$ ○三つの分数の計算をする。 例 $\frac{1}{2} + \frac{2}{3} - \frac{1}{4}$ | 知④：ノート 思②：観察・発言 態①：発言 |

| 学習をたしかに (p.118～119) 1時間 | | |
|-------------------------|---|-------------------------------|
| 11 | <input type="radio"/> 『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 <input type="radio"/> 『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 <input type="radio"/> 『「分数のたし算とひき算」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | 知①～④：ノート 思①②：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.286)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | |

● 算数ジャンプ (p.120～121)

10月上旬 [1時間]

| 時間 | 学習活動 |
|----|-------------------------------------|
| 1 | ○階段のつくり方について、建築のきまりをもとに、階段の寸法を考察する。 |

9 平均 [ならした大きさを表そう] (p.123～130)

10月上旬～10月中旬 [4時間]

【単元の目標】

- (1) 平均の意味を理解し、平均を求めることができる。
- (2) 測定の結果を、平均の考え方をういて量的にとらえることができる。
- (3) 平均を用いることよきに気づき、平均の考え方をういて生活に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ①平均は、幾つかの数量を同じ大きさの数量にならすことであることを理解している。 ②測定値を平均する方法を理解している。 | ①身の回りにある事柄について、より信頼できる値を求めるために、得られた測定値を平均する方法を考えている。 ②日常生活の問題(活用問題)を、測定値を平均する方法を用いて解決している。 | ①より信頼できる値を求めるために平均を用いるよきに気づき、測定値を平均する方法を用いることができる場面を身の回りから見つけようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|---------------------|--|---|------------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.123)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.124) ・「ならす」ということのイメージをもつ。 | | 態①：観察・発言 |
| | ○「ならす」方法を考え、平均の意味と求め方を理解する。 | ・ジュースの量をならす方法を考える。 ・平均の意味と求め方を知る。 | 知①：発言・ノート |
| 2 | ○値に0がある場合の平均の求め方や分離量の平均を小数で表せることを理解する。 | ・0があるときの平均の求め方を考える。 ・分離量の平均を小数で表す。 | 知②：発言・ノート 思①：発言・ノート |
| 3 | ○平均を利用して、全体の量を予想する方法を考える。また、はずれ値がある場合の平均の求め方を知る。 | ・平均から全体の量を予想する。 ・飛び離れた値や予想外の値の処理の仕方を考える。 | 知②：ノート 思②：発言・ノート |
| 学習をたしかに (p.129) 1時間 | | | |
| 4 | <input type="radio"/> 『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 <input type="radio"/> 『「平均」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①②：ノート 思①②：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.287)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

10 単位量あたりの大きさ【こみぐあいなどの比べ方を考えよう】 (p.131～148)

10月中旬～10月下旬【13時間】

【単元の目標】

- (1) 人口密度や速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解し、その大きさを計算で求め、比べることができる。
- (2) 人口密度や速さなど異種の2量の割合でとらえられる量について、単位量あたりの大きさの考えを用いて考え、説明することができる。
- (3) 異種の2量の割合でとらえられる数量について、単位量あたりの大きさの考えを用いて比較することのよさに気づき、生活に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ①異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方について理解している。 ②単位量あたりの大きさについて理解している。 ③異種の二つの量の割合でとらえられる速さや人口密度などを比べたり表したりすることができる。 | ①異種の二つの量の割合としてとらえられる数量の係数に着目し、目的に応じた、大きさの比べ方や表し方を考えている。 ②日常生活の問題（活用問題）を、単位量あたりの大きさを活用して解決している。 | ①異種の二つの量の割合としてとらえられる数量の係数に着目し、単位量あたりの大きさを活用して比べることのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 ②単位量あたりの大きさを活用できる場面を身の回りから見つけようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|-------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.131)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| 1 単位量あたりの大きさ (p.132～140) 7時間 | | | |
| 1・2 | ○単元アプローチ ・こみぐあいのイメージを持つ。 ○こみぐあいの比べ方を考え、こみぐあいを調べるとき、2量のうち一方の大きさにそろえて比べればよいことを理解する。 | ・シート数と子どもの人数から、こみぐあいの比べ方を考える。 ・こみぐあいを比べる方法を話し合う。 | 知①：発言・ノート 思①：発言・ノート 態①：観察・ノート |
| 3・4 | ○1km ² あたりの人口を考え、人口密度の意味とその求め方を理解する。 | ・人口密度の意味を知り、その求め方を考える。 【使ってみよう】 ・日本の各都道府県の人口密度を求める活動をする。 | 知③：観察・ノート 思②：ノート 態②：ノート |
| 5 | ○単位量あたりの大きさの考えを用いて、問題を解決することができる。 | ・畑でとりたいものの重さと畑の面積から、とれぐあいを比べる。 | 知①②：発言・ノート |
| 6 | ○針金の長さや重さの関係を考え、単位量あたりの大きさについて理解を深める。 | ・針金の長さや重さを、単位量あたりの大きさの考えを適用して調べる。 | 知②：ノート 思②：観察・発言 |
| 7 | ○仕事の速さも、単位量あたりの大きさを活用して考え、解決する。 | ・2つのプリンターの印刷速度を比べる。 | 思②：発言・ノート |
| 2 速さ (p.141～146) 5時間 | | | |
| 8 | ○速さの比べ方を考え、単位量あたりの大きさを比べられることを理解する。 | ・3人のソーラーカーの速さの比べ方を考える。 ・速さの比べ方についてまとめる。 | 知③：ノート 思①：観察・ノート 態①：発言 |
| 9 | ○速さの表し方や比べ方を理解し、それを活用して問題を解決する。 | ・新幹線の「のぞみ」号と「はやぶさ」号の速さを比べる。 ・速さを求める公式を知る。 ・時速、分速、秒速という速さの表し方を知る。 | 知③：ノート 思①：観察・ノート |
| 10 | ○速さの公式をもとに、道のりを求めることができる。 | ・飛行機の速さと時間から道のりの求め方を考える。 | 知③：ノート 思①：発言・ノート |
| 11 | ○速さの公式をもとに、時間を求めることができる。 | ・自転車で走る道のりと速さから時間を求める。 | 知③：ノート 思①：発言・ノート |

| | | |
|--------------------------------|---|--------------------------------|
| 12 | ○身の回りのものの速さを調べようとする。 【使ってみよう】 ・身の回りのいろいろなものの速さを調べ、自分のテーマをきめてまとめる。 | 態②：観察・ノート |
| 学習をたしかに (p.147～148) 1時間 | | |
| 13 | ○『わかっているかな』で、つまずきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「単位量のあたりの大きさ」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | 知①②③：ノート 思①②：ノート 態①②：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.288)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | |

11 図形の面積 [面積の求め方を考えよう] (p.149～172)

10月下旬～11月中旬 [14時間]

【単元の目標】

- 求積公式を使った平行四辺形や三角形などの面積の求め方を理解し、公式を用いて求めることができる。
- 平行四辺形や三角形などの面積の求め方を、等積変形や倍積変形の考えを用いて、既習の図形の面積の求め方をもとに考えることができる。
- 基本的な図形の面積に関心を持ち、その求積方法をくふうして考えることによって、数学のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| ①必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ②三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を、公式を用いて求めることができる。 | ①三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方をもとに考えている。 ②見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。 | ①求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。 ②見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|-----------------------------------|--|---|-----------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.149)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 平行四辺形の面積 (p.150～156) 5時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.150) ・いろいろな形の花壇の面積について、その広さが比べられるかを考える。 | | 態①：発言 |
| 2 | ○平行四辺形の面積の求め方を考え、その方法を説明することができる。 | ・平行四辺形の面積の求め方を考える。 | 思①：発言・ノート 態①：観察・発言 |
| 3 | ○平行四辺形の求積公式を考え、それを適用することができる。 | ・平行四辺形の面積を計算で求める方法を考える。 ・平行四辺形の底辺、高さの意味を知る。 ・平行四辺形の面積を求める公式をまとめる。 | 知②：ノート 思②：発言・ノート |
| 4 ・ 5 | ○高さが平行四辺形の外にある場合でも、平行四辺形の求積公式が適用できることを理解する。また、底辺と高さが同じならば、どんな平行四辺形でも面積が等しくなることを理解する。 | ・高さが外側にある平行四辺形の面積の求め方を考える。 ・平行四辺形の面積と、底辺と高さの関係について調べる。 | 知①②：発言・ノート・観察 |
| ② 三角形の面積 (p.157～162) 4時間 | | | |
| 6 | ○三角形の面積の求め方を考え、その方法を説明することができる。 | ・三角形の面積の求め方を考える。 | 思①：発言・ノート 態①：観察・発言 |

| | | | |
|-------------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 7 | ○三角形の求積公式を考え、それを適用することができる。 | ・三角形の面積を計算で求める方法を考える。 ・三角形の底辺、高さの意味を知る。 ・三角形の面積を求める公式をまとめる。 | 知②：ノート 思②：発言・ノート |
| 8・9 | ○高さが三角形の外にある場合でも、三角形の求積公式が適用できることを理解する。また、底辺と高さが同じならば、どんな三角形でも面積が等しくなることを理解する。 | ・高さが外側にある三角形の面積の求め方を考える。 ・三角形の面積と、底辺と高さの関係について調べる。 | 知①②：発言・ノート・観察 |
| ③ いろいろな図形の面積 (p.163～169) 4時間 | | | |
| 10 | ○台形の面積の求め方を考え、その方法を説明することができる。 | ・台形の面積の求め方を考える。 | 思①：発言・ノート |
| 11 | ○台形の求積公式を考え、それを適用することができる。 | ・台形の面積を計算で求める方法を考える。 ・台形の上底、下底の意味を知る。 ・台形の面積を求める公式をまとめる。 | 知②：発言・ノート 思②：発言・ノート |
| 12 | ○ひし形の面積の求め方を考え、その方法を説明することができる。また、ひし形の求積公式を考え、それを適用することができる。 | ・ひし形の面積の求め方を考える。 ・ひし形の面積を求める公式をまとめる。 | 知①②：発言・ノート 思①②：発言・ノート |
| 13 | ○平行四辺形の底辺の長さを一定にして高さを変えたとき、面積は高さに比例することを理解する。 | ・平行四辺形の底辺の長さはそのままで、高さを変えていったときの、高さと面積の関係について調べる。 | 思②：観察・発言 態②：観察・発言 |
| 学習をたしかに (p.170～171) 1時間 | | | |
| 14 | ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「図形の面積」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①②：ノート 思①②：ノート 態①②：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.289)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

12 正多角形と円 [円をくわしく調べよう] (p.173～191)

11月下旬～12月中旬 [12時間]

【単元の目標】

- (1) 正多角形の意味や性質、及び円周率の意味や円周の長さの求め方を理解し、正多角形を作図したり、円周率を用いて円周の長さを求めたりすることができる。
- (2) 正多角形を作図する際に円と組み合わせることで性質や特徴を見いだしたり、円周の長さや直径、半径の関係を考えたりすることができる。
- (3) 身の回りから正多角形を見つけようとしたり、円周率に関心を持ち、円周率を用いようとしたりするなどして、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ①多角形や正多角形について知り、平面図形についての理解を深めている。 ②円と組み合わせることで、正六角形などを作図することができる。 ③どの円についても(円周)÷(直径)の値が一定であることや、その値を円周率ということ、円周率は3.14を用いることなどを理解している。 ④円周率を用いて、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりすることができる。 | ①円と組み合わせることで、正多角形を作図する方法を考えている。 ②円と組み合わせることで、正多角形の性質を見いだしている。 ③内接する正六角形と外接する正方形との関係を用いて、円周は直径の3倍より大きく4倍より小さいことを見いだしている。 ④正多角形の性質をもとに、正多角形をプログラミングで作図する方法を考え、説明している。 | ①円周率について考えたことを振り返り、そのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|--------------------------------|--|---|--------------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.173)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 正多角形 (p.174～181) 6時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.174) ・六角返しをつくる活動に取り組む。 | | |
| 2 | ○正多角形の意味について理解する。 | ・色紙を折ったり切ったりして、形をつくる。 ・つくった形の辺や角について調べる。 ・正多角形の意味を知る。 | 知①：発言・ノート |
| 3 | ○中心角を使った正多角形の作図の仕方を考え、作図できる。 | ・円を使って、正八角形をかく方法を考える。 ・円を使った正多角形のかき方をまとめる。 | 知②：発言・ノート 思①：発言・ノート |
| 4 | ○正六角形がかける理由を説明する。 | ・コンパスを使って正六角形がかける理由を考える。 | 思①②：発言・ノート |
| 5 ・ 6 | ○正多角形をかくプログラミングについて、正多角形の性質をもとに、筋道立てて考える。 | 【プログラミングを体験しよう】 ・正方形をかくプログラムを考える。 ・正三角形をかくプログラムを考える。 ・正六角形をかくプログラムを考え、それをもとに、正多角形をかくプログラムをまとめる。 | 思④：観察・発言 |
| ② 円周と直径 (p.182～188) 5時間 | | | |
| 7 | ○円周の長ささと直径の長さの関係について考える。 | ・円周の意味を知る。 ・正六角形と円を使って、円周の長ささと直径の長さとの関係を調べる。 | 思③：観察・発言 態②：観察・発言 |
| 8 | ○いろいろな円の円周の長ささと直径の長さとの関係を調べることによって円周率の意味を知り、それを使って円周の長さを求めることができる。 | ・具体物を使って円周の長ささと直径の長さをはかり、その関係を調べる。 ・円周率の意味を知り、円周の長さの求め方を考える。 | 知③④：ノート 思③：発言・ノート |
| 9 | ○円周率を活用し、直径や半径の長さを求めることができる。 | ・円周の長さから半径や直径の長さを求める。 | 知④：ノート 態①：観察・発言 |
| 10 | ○直径の長ささと円周の長さの関係性を調べることができる。 | ・直径の長さを変えたときの円周の長さの変わり方を調べる。 | 知④：発言・ノート 態①：発言・ノート |
| 11 | ○身の回りから円の形をしたものを探して、円周の長さをはかり、直径の長さを調べることができる。 | 【使ってみよう】 ・身の回りの円の形をしたものの直径の長さを調べる。 | 知④：ノート 態①：発言 |
| 学習をたしかに (p.189～190) 1時間 | | | |
| 12 | ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「正多角形と円」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①～⑤：ノート 思①②③：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.290)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

13 倍を表す小数【倍の計算を考えよう】 (p.192～195)

12月中旬【3時間】

【単元の目標】

- (1) 倍が小数で表されている場合の数量関係について理解し、説明することができる。
- (2) 倍が小数で表されている場合の数量関係について、図や式などを用いて考え、表現することができる。
- (3) 小数倍の意味について、整数倍の意味と統合的にとらえたり、学習したことを生活や学習に生かしたりしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| ①比較量や基準量が小数の場合に、倍を表す数を求めることができる。 ②倍を表す数が小数の場合に、比べる量やもとにする量を求めることができる。 | ①倍が小数で表されている場合の数量の関係を、数直線図などを用いて正しくとらえ、倍が整数の場合のときと同じように考えることができる。 | ①学習したことをもとに倍を表す数や比べる量、もとにする量の求め方を考えようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|----|---|--------------------------|--------------------|
| 1 | ○単元アプローチ (p.192) ・4年までの倍の学習について振り返る。 | | 態①：発言 |
| | ○比較量と基準量が小数のときの2量の関係を、数直線図などを用いて正しくとらえ、何倍かを除法で求めることができる。 | ・小数で表された数について、倍を表す数を求める。 | 知①：ノート |
| ※ | 「よみとろう あらわそう」(p.314)で、倍の数直線図のよみ方・かき方を確認する。 | | |
| 2 | ○整数倍の時と同じように、倍が小数で表されている場合の数量の関係を、数直線図などを用いて正しくとらえ、比較量を求めることができる。 | ・倍を表す小数を用いて、比べる量を求める。 | 知②：ノート 思①：観察・発言 |
| 3 | ○整数倍の時と同じように、倍が小数で表されている場合の数量の関係を、数直線図などを用いて正しくとらえ、基準量を求めることができる。 | ・倍を表す小数を用いて、もとにする量を求める。 | 知②：ノート 思①：観察・発言 |

● 復習 (p.196～198)

12月下旬【1時間】

| 時間 | 学習活動 |
|----|--|
| 1 | ○①<見方・考え方をみがこう>で、単元で培った数学的な見方・考え方を振り返る。 ○②以降で、1学期の学習内容の理解を確認する。 *時間内で扱えない問題は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に取り組ませる。 |

14 分数と小数、整数 [分数と小数、整数の関係を調べよう] (p.199～210)

1月上旬～1月中旬 [7時間]

【単元の目標】

- (1) 分数と小数、整数の関係を理解するとともに、整数についての除法の結果を分数で表すことができる。
- (2) 既習事項をもとに、整数や小数を分数の形になおしたり、分数を小数で表したりする方法を考えることができる。
- (3) 分数と小数、整数の関係について考えたことを振り返り、分数で表すことのよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ①整数及び小数を、分数の形に直したり、分数を小数で表したりできる。 ②整数の除法の結果を、分数を用いて一つの数として表すことができることを理解している。 | ①分数の性質にもとづいて、数の相等について考察している。 ②整数の除法の結果を分数で表すことができることを見いだし、分数の意味を拡張して考えている。 | ①整数の除法の結果を分数で表すことによって計算の結果をいつでも一つの数で表すことができるというよさに気づき、学習したことを、生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目 標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|-----------------------------------|--|--|------------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.199)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① わり算と分数 (p.200～202) 1時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.200) ・2Lのジュースを何等分かしたときの1人分の量を考える。 | | 態①：観察・発言 |
| | ○整数のわり算の商を分数で表すことができる。 | ・2Lのジュースを3人で等分する場面を通して、整数のわり算の商を分数で表す方法を考える。 | 知②：ノート |
| ② 分数倍 (p.203～205) 2時間 | | | |
| 2 | ○整数のわり算の商を分数で表すことによって、分数倍の意味と表し方を理解する。 | ・紙飛行機を飛ばしたきよりを比べることを通して、倍が分数で表されることを知る。 | 知②：発言・ノート |
| 3 | ○これまでの分数の学習を振り返るとともに、商分数の意味も加えて、分数の意味を拡張して考える。 | ・長さについて、 $\frac{3}{4}$ という分数を使っている場面をつくり発表する。 ・分数にはいろいろな使われ方があることをまとめる。 | 思②：発言・ノート |
| ③ 分数と小数・整数 (p.206～208) 3時間 | | | |
| 4 | ○分数と小数が同じ大きさを表すことをとらえると同時に、分数を小数で表す方法を理解する。 | ・わり算の答えを分数と小数で表す。 ・分数を小数で表す方法を考える。 | 知①：発言・ノート 思①：ノート 態①：発言 |
| 5 | ○小数と分数の関係について考え、小数を分数で表すことができる。 | ・小数を分数で表す方法を考える。 | 知①：発言・ノート |
| 6 | ○整数と分数の関係について考え、整数を分数で表すことができるとともに、整数、分数、小数の大小比較の仕方を理解する。 | ・整数を分数で表す方法を考える。 ・整数、分数、小数の大きさを比べる。 | 知①：ノート 思①：発言・ノート 態①：発言 |
| 学習をたしかに (p.209～210) 1時間 | | | |
| 7 | ○『わかっているかな』で、つまずきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「分数と小数、整数」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習をふり返る。 | | 知①②：ノート 思①②：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.290)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

15 割合 [比べ方を考えよう] (p.211 ~ 225)

1月中旬～2月上旬 [10時間]

【単元の目標】

- (1) 割合、百分率、歩合の意味を理解し、2つの数量の関係から割合を求めたり、割合をもとにして基準量や比較量を求めたりすることができる。
- (2) 割合を比べるのに、2つの数量の関係を数直線や式に表して考えることができる。
- (3) 身の回りの事象を、割合を用いて比べるよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| ①ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に、割合がいつでも変わらない場合は割合を用いて比べられることを知り、割合を用いて比べることができる。 ②百分率と歩合の意味について理解し、それらを用いて割合を表すことができる。 ③比較量と基準量から割合を求めたり、基準量と割合から比較量を求めたり、比較量と割合から基準量を求めたりすることができる。 | ①日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係との比べ方を考察し、場面にあった比べ方を判断している。 ②日常生活の問題（活用問題）を、割合を活用して解決している。 | ①二つの数量の關係に着目し、割合を用いて比べることのよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|----------------------------------|--|---|-------------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.211)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 割合と百分率 (p.212～218) 5時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.212) ・輪投げの記録を使って、いちばんうまく投げられた班について考える。 | | 思②：ノート 態①：発言 |
| 2 | ○輪投げの数量の關係に着目し、図と式を用いて、複数の班のうまさの比べ方を考える。 | ・輪投げの結果を見て、どの班がいちばんうまく投げられたか比べる。 | 知①：発言 思①：発言・ノート |
| ※ | 「よみとろう あらわそう」(p.314)で倍の数直線のよみ方、かき方を確認する。 | | |
| 3 | ○図と式を用いて2つの数量の關係を考え、割合の意味と求め方を理解する。 | ・数直線を使って、比較量、基準量の意味を知る。 ・割合の意味と求め方を知る。 | 知①：ノート 思①：発言・ノート |
| 4 | ○百分率の意味と求め方を理解する。 | ・1パーセントの大きさを知る。 ・百分率の意味と表し方を知る。 | 知②：ノート |
| 5 | ○歩合の意味と求め方を理解する。 | ・1割の大きさを知る。 ・歩合の意味と表し方を知る。 | 知②：発言・ノート |
| ② 割合を使う問題 (p.219～223) 4時間 | | | |
| 6 | ○図と式を用いて、2つの数量の關係を考え、基準量と割合から、比較量を求めることができる。 | ・数直線図に数量の關係を表す。 ・比較量の求め方を考える。 | 知③：ノート 思②：発言・ノート |
| 7 | ○図と式を用いて、2つの数量の關係を考え、比較量と割合から、基準量を求めることができる。 | ・数直線図に数量の關係を表す。 ・基準量の求め方を考える。 | 知③：ノート 思②：発言・ノート |
| 8・9 | ○割引の場面について、代金の求め方を考え、2通りの方法で解決する。 | ・数直線図に数量の關係を表す。 ・割引の場面について、代金の求め方を考える。 | 思②：発言・ノート 態①：発言・ノート |
| 学習をたしかに (p.224～225) 1時間 | | | |
| 10 | ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『「割合」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | | 知①②③：ノート 思①②：ノート 態①：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.291)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | | |

● **どんな計算になるか考えよう** (p.226)

2月中旬【1時間】

| 時間 | 学習活動 |
|----|--|
| 1 | ○問題文を読み、どのような計算で求められるかを考えて解決する。(倍の場面の演算決定) *時間内で扱えない問題は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に取り組ませる。 |

16 帯グラフと円グラフ【割合をグラフに表そう】 (p.227～240)

2月中旬～2月下旬【8時間】

【単元の目標】

- (1) 帯グラフや円グラフの特徴とそれらの使い方を理解するとともに、統計的な問題解決の方法を知っている。
- (2) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的にとらえ考察することができる。
- (3) 目的に応じてデータを集め、それを分類整理して特徴を調べようとしたり、帯グラフや円グラフを生活や学習に活用したりしようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ①帯グラフや円グラフの特徴とそれらの使い方を理解している。 ②帯グラフや円グラフを用いて表したり、円グラフや帯グラフを読み取ったりすることができる。 ③「問題-計画-データ-分析-結論」といった統計的な問題解決の方法を知っている。 | ①身近な題材から解決すべき問題を設定し、計画を立て、先を見通して観点を考えて必要なデータを集めている。 ②問題を解決するために適切な表やグラフを選択してデータの特徴や傾向をとらえ問題に対する結論を考えている。 ③結論や集めたデータなどに対し、別の観点から見直したり再整理したりしている。 | ①データを収集したり分析したりした過程を振り返り、よりよい表現や結論の出し方を考えている。 ②統計的な問題解決のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.227)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| ① 帯グラフと円グラフ (p.228～233) 4時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.228) ・表と棒グラフを見て、図書室で貸し出された本の種類と数の特徴を考える。 | | 態①：発言・ノート |
| 2 | ○帯グラフと円グラフの用語と意味を理解する。 | ・帯グラフと円グラフを知る。 | 知①：発言 |
| 3 | ○帯グラフや円グラフのしくみを知り、グラフのよみ方、特徴を理解する。 | ・帯グラフと円グラフのよみ方を知る。 | 知②：ノート 思②：観察・発言 |
| 4 | ○帯グラフや円グラフのかき方を理解する。 | ・帯グラフ、円グラフのかき方を知る。 | 知②：ノート |
| ② 表やグラフの利用 (p.234～238) 3時間 | | | |
| 5 | ○問題を解決するために適切な表やグラフを選択し、データの特徴をよみ取り、説明する。 | ・学校の図書室の利用について表した表やグラフをよみ取り、いろいろな問題を解決する。 | 思②：観察・発言 |
| 6 ・ 7 | ○これまでに学習した表やグラフを用いて、統計的な問題解決の方法を理解する。また、自分で調べたことや身の回りのことを、これまでに学習した表やグラフにまとめ、説明する。 | ・統計的な問題解決の方法を知る。 【使ってみよう】 ・自分で調べたことを、表やグラフに表し、わかったことをまとめて発表する。 | 知③：発言・ノート 思①②③：発言・ノート 態①②：発言・観察 |

| 学習をたしかに (p.239～240) 1時間 | | |
|-------------------------|--|---------------------------------|
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ○『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 ○『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 ○『帯グラフと円グラフ』の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | 知①②③：ノート 思①②③：ノート 態①②：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.292)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | |

17 角柱と円柱 [柱の形を調べよう] (p.241～251)

2月下旬～3月上旬 [7時間]

【単元の目標】

- (1) 角柱や円柱の意味や構成要素、性質を理解し、角柱や円柱の見取図や展開図をかいたり、展開図から立体を構成したりすることができる。
- (2) 角柱や円柱の構成要素に着目して、角柱や円柱の性質を既習の直方体などと結びつけて考えることができる。
- (3) 角柱や円柱の性質や構成要素を調べたり、身の回りから角柱や円柱を見つけたりしようとしている。

【単元の評価規準】

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ①角柱や円柱について知り、角柱や円柱の構成要素や、辺や面の位置関係について理解している。 ②角柱や円柱の見取図や展開図をかきことができる。 ③角柱や円柱を展開図をもとに構成することができる。 | ①立体図形について、その違いに気づき、角柱、円柱などに分類し、分類した立体図形の性質を見いだしている。 ②立方体や直方体を角柱としてとらえ直している。 ③辺や面のつながりや位置関係に着目して、角柱や円柱を構成したり、角柱や円柱の見取図や展開図をかいたりする方法を考えている。 | ①基本的な角柱や円柱を構成する要素に着目し、図形の性質を見だし、その性質をもとに既習の図形をとらえ直したことを振り返り、それらのよさに気づいている。 ②身の回りから、角柱や円柱を見つけようとしている。 ③角柱や円柱を構成したり、角柱や円柱の見取図や展開図をかいたりしようとしている。 |

| 時間 | 目標 | 学習活動 | 評価規準・方法 |
|------------------------------------|--|---|------------------------|
| ※ | 「次の学習のために」(p.241)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 | | |
| 1 角柱と円柱 (p.242～246) 3時間 | | | |
| 1 | ○単元アプローチ (p.242) ・箱の中の形の特徴を考え、どんな形を選んでいるかを考えるゲームをする。 | | 態①：観察 |
| | ○観点を決めて立体を分類するとともに、立体の意味を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・立体を角柱と円柱に分類する。 ・立体の意味を知る。 ・角柱、円柱の意味を知る。 | 知①：発言 思①：観察・発言 |
| 2 | ○角柱、底面、側面の意味を知り、角柱の性質と種類を理解する。 | ・角柱を調べ、その性質を知る。 | 知①：発言・ノート 思①②：観察・発言 |
| 3 | ○円柱やその高さを知り、円柱と角柱の性質を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・円柱を調べ、その性質を知る。 ・角柱と円柱の見取り図をかき。 | 知①②：発言・ノート 思③：観察・発言 |
| 2 角柱と円柱の展開図 (p.247～249) 3時間 | | | |
| 4 | ○三角柱の展開図をかき、それをもとに三角柱を構成することができる。 | ・三角柱の展開図をかき、角柱をつくる。 | 知②③：観察 態③：観察 |
| 5 6 | ○円柱の展開図をかき、それをもとに円柱を構成することができる。また、身の回りから角柱や円柱の形をしたものを探そうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・円柱の展開図をかき、円柱をつくる。 【使ってみよう】 ・身の回りから角柱や円柱の形をしたものを探す。 | 知②③：観察 態②③：発言・観察 |

| 学習をたしかに (p.250～251) 1時間 | | |
|-------------------------|--|----------------------------------|
| 7 | <input type="radio"/> 『わかっているかな』で、つまづきやすい内容や培った見方・考え方を確認する。 <input type="radio"/> 『たしかめよう』で、学習内容の理解を確認する。 <input type="radio"/> 『「角柱と円柱」の学習をふり返ろう。』で、単元の学習を振り返る。 | 知①②③：ノート 思①②③：ノート 態①②③：ノート |
| ※ | 「ぐっとチャレンジ」(p.293)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。 | |

● 算数ジャンプ (p.252～257)

3月上旬【3時間】

| 時間 | 学習活動 |
|----|--|
| 1 | ○米の生産地と品種について、与えられた資料をよみ取り、考えられることを説明する。 |
| 2 | ○海岸のごみについて、与えられた資料をよみ取り、考えられることを説明する。 |
| 3 | ○色でぬられた立方体を調べ、色のぬられ方を考える。 |

* レッツプログラミング (p.258～259) 【配当数なし】

| 時間 | 学習活動 |
|----|---------------------------------------|
| ※ | ・「レッツプログラミング」は、予備時間や家庭学習などを通して弾力的に扱う。 |

● 5年の復習 (p.260～264)

3月中旬【3時間】

| 時間 | 学習活動 |
|----|--|
| 1 | ○①②<見方・考え方をみがこう>で、単元で培った数学的な見方・考え方を振り返る。 |
| 2 | ○③以降で、5年の学習内容の理解を確認する。 |
| 3 | *時間内で扱えない問題は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に取り組ませる。 |